



「秋の花粉症にご用心」

9月になりましたが、まだ暑さが続きそうですね。そろそろ秋の花粉症が気になっている方もいると思います。アレルギー性鼻炎の原因となる秋の花粉の代表的な植物は「ブタクサ」「ヨモギ」「カナムグラ」です。8月から花粉が飛び始め、9月にピークを迎え、12月くらいまで飛散していることもあります。また、イネ科の植物の花粉も、夏から秋にかけて飛散しています。とくにブタクサは花粉の粒子が小さく、気管支まで入り込むと喘息のような咳の原因になります。夏場から秋にかけて鼻炎症状や咳がひどくなる人は、秋の花粉症の可能性が高いので、マスクの装着や抗アレルギー薬の内服が望ましいです。

自分に何のアレルギーがあるのか気になる方には「ドロップスクリーン」でのアレルギー検査がおすすめです。ドロップスクリーンとは、少量の血液でアレルギーの原因物質を調べることができる器械の名称です。30分で結果が出るので、近年多くの医療機関で取り入れられています。おぎはら耳鼻咽喉科でも7月下旬にドロップスクリーンを設置し、8月末の時点で50人ほどの方が検査を受けられました。従来の方法では、採血した検体を検査会社に発送し、結果が来るのに1週間ほどかかっていたので、患者さんの負担が少なくなりました。当院には機械が一台しかないので、1人ずつしか検査ができないため、ご兄弟など複数人で検査を希望の場合は、結果を後日お話することもできます。興味のある方は医師にお声掛けくださいね。

オギジビ豆知識

今年度はこちらのコーナーで院内に展示している絵画作品について解説していきます



「円相図」作：古家野雄紀

古家野雄紀さんは東京芸大の日本画科出身の若手作家です。日本画の枠にとらわれず、古典と現代を融合させたような独特の世界観を持ち、「かわいい」を取り入れた作品で人気を集めています。鎌倉豊島屋の「鳩サブレ干支缶」や東武東上線川越特急ラッピング電車のデザインなど、様々な企業とのコラボレーションで注目されました。「円相図」は作者の代表的なモチーフで、大胆に描かれた円の背景は、たくさんの人間や動物の群像図となっています。華やかで楽しい作品です。

オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介ください。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。